

ひがしゆり

HIGASHIYURI

東由利町

1998 10
NO.523

みのりの秋 大琴小で稲かり



町イメージ
キャラクター
「モウ太くん」

九年度一般・特別会計決算、全会一致で認定

第八回議会定例会は九月九日に招集され、会期を九月九日から二十二日まで十四日間としました。

初日、九日は阿部幸悦町長の行政報告、三議員による一般質問の後、平成十年度東由利町一般会計補正予算案など五議案を原案通り可決、平成九年度各会計決算認定案等を各委員会に付託、散会しました。

十日からは各常任委員会の決算審査、連合審査を行い、最終日の二十二日、教育委員会委員の任命、監査委員の選任に同意を求める等二議案を原案通り可決。平成九年度東由利町一般会計及び、各特別会計歳入歳出決算を全会一致で認定し、開会しました。

町長行政報告

豪雨災害

町内各所に傷あとが残す

農業施設災害関連

七月から八月に発生した梅雨前線等による豪雨災害の農業、農業用施設災害は十八件、六千万円程度で補助災害の申請を予定しています。査定は九月最終の週に行われる予定です。

小災害も五十件程見込まれ、災害申請を受け付けた上で、本年度実施分と次年度実施分に類別したい予定です。

公共土木施設災害関連

梅雨前線等による豪雨災害

として、調査と通報を受けた件数は八十九件で、公共土木施設災害申請は、道路災害十



▲町長行政報告



▲豪雨により河川が増水

件、河川災害十件、合計二十件。査定は十月十二日から行われる予定であります。公共土木施設災害申請以外の六十九件については、町単維持工事対応と今後の災害対応などで検討して参りたいと思います。

石高、熊高沢地区の山林約〇・五ヘクタールが水路、石高川に地すべりし、災害をもたらしただけではありませんが、県林務課、土地改良課、河川砂防課と協議を行ったところ

第8回 議会定例会



ろ、県河川課を中心に対応することにし、今後、三者で協議しながら河川災害対応で復旧にむけて進めることになりました。国の査定予定は十一月中旬となっております。

高度情報通信時代に沿い 携帯電話七月より供用開始

携帯電話、自動車電話用無線基地局が完成、七月二十七日から供用を開始しています。また、板戸と善徳のほぼ中間地内の町有地に計画されているマイクローエーブ中継用鉄塔（携帯電話の転送幹線）工事についても、用地測量やボーリングなどが順調に行われています。

老方地区で汚水処理開始 加入率十三・六パーセント

七月三日の通水式をもって供用を開始しました。現在同意二百六十五公共枡に対し、加入者は三十六公共枡で、加入率十三・六パーセントであります。

今年度事業の発注状況は六月二十二日発注が六工区、処理場施設外構一工区。七月三十日発注の路面復旧一工区で

あります。

各県営土地改良事業に それぞれ予算の追加

県営担い手育成事業律沢地区は経済対策分として五千万円の追加があり、幹線用水路整備として頭首工から律沢会館までの水路を整備する予定となっております。

県単老朽ため池整備事業八塩地区は、二億円の追加があり、十年度二億七千六百万円の事業費で実施されます。なお十一年度から利活用保全施設整備事業により、堤体



▲中山間総合整備事業で着々と進む八塩地区



▲実りの秋をむかえ、今年の実りは・・・

産調整目標面積三五五ヘクタール中、達成した生産調整面積は三五五・六ヘクタールで、達成率一〇〇・一七です。

出荷頭数は四十八頭増加 平均価格は二万一千円安

四月から八月までの和牛の出荷頭数は二百五十二頭と前年度より四十八頭多く、平均価格は八月比較で一頭当たり二万一千円安いようです。

畜産経営環境整備事業は平成十年度から県営事業として着手しました。

本年度は草地改良四地区（大台・善徳・朴ノ木沢・宿六・四ヘクタールを一千三百八十一万四千円で実施中です。

介護保険事業にむけ 実態調査行う

介護保険は平成十二年四月一日から施行されます。

平成十一年度には介護保険事業計画を策定しなければなりません、これにむけて介護保険の事業量把握のため、六十五

歳以上の千五百二十九人について、実態調査を行っているところであります。

この実態調査の結果から介護保険における事業量を把握するとともに、今後の保健、医療、福祉サービスや、町のゴールドプランの見直しを行っていきます。

防犯灯 町内各所に設置

防犯灯を松台地内など八カ所に設置しました。

また消防団緊急伝達装置（チャイム）増設工事は船木で行いました。（行政報告次ページに続く）



▲福祉介護は今後の課題のひとつ

宿河川公園に看板設置 親しまれる公園にと期待

宿河川公園広場事業は、平成十年度左岸工事を完成させ、平成十一年度以降は右岸工事を行うこととしております。公園の名称については地域の要望等で、県に対し「宿河川公園」でお願いし、入り口に「宿河川公園」の看板を設置したところであります。

ふるさと林道緊急整備事業石塚線は、関係者に事業説明、路線説明を実施し、路線、用地測量を行い、工事着手を目前指して準備を進めているところであります。

事業主体は町で五カ年工事となります。全体計画は四千二百メートル、事業費二億五千万円で、平成十年度は事業費五千万円で延長五百メートルの実施予定です。

神岡南外東由利線の 各面積、用地単価は正月明け

神岡南外東由利線は、県の計画では平成十年度用地測量を行い、平成十一年度用地買収、着手は一〇七号沿い横渡地区より着手し、平成十五年

に完成を目指しているのとこととであります。全体計画は延長一千四百四十メートルです。

また、用地は、稲刈り前に立会いをお願いし、その後測量を実施したいとのこととあります。各人の用地面積、用地買収単価は正月明けに提示したいとの説明を受けたところであります。

林業地域総合整備事業での、用水施設配管工事三百四十九メートル、同電気工事、ポンプ・制御盤等一式は九月完成を、トイレ建物工事一棟は十月完成を目指しております。

アクセス林道沢中線の舗装は、延長一千四百三十三メートル、幅員七メートルで年度内完成を目指しております。

両善寺線未改良区間は 町単独で来年度完成めざす

町道両善寺線の本線、全体計画については、平成十一年完成を目指したところでありましたが、平成十年度で補助事業を終えることになりました。未改良区間については今後、町単独事業で行います。

一般質問

(一部抜粋)

鈴木和夫議員

八月豪雨災害で発生した小災害の取扱は

国の査定結果も見ながら全体を把握したい。その後に受益者の心配のない工事を行っていききたいと思う。

町内に数カ所ある小規模水道について、行政として支援指導方針などあるのか

小規模水道が老朽化の場合、町で対応、支援、指導する場合もあるが、まずは各水道で充分な検討を。

十一月に行われる認定農業者全国サミットに支援を。

積極的に参加してもらいたい。参加費程度は町の負担も考えてみたい。認定農業者協議会からもご指導願いたい。

大琴小児童数の激減から学校再編を考えるべきではないか

地域や保護者の合意形成を最重要点として対応したい。まず保護者の意向が第一なので、その声

を汲みとるよう努めていきたい。(教育長)

結論を出す時が近づいているとの思いはあるが、父兄、地域の皆さんの意向が大切。

げんき館隣地にゴルフ練習場を

今は考えていない。当面は広域的な視点で他町の施設等で練習されるのがよいのではないかと考える。ご理解願いたい。

佐藤萬一議員

東由利町教育研究所に研修員の配置がなくなったが

国、県より「研修員のあり方」が問題にされており、提示された条件をクリアすることが困難になり、やむを得ず派遣を辞退することになった。(教育長)

町の知能検査と学力検査の結果について

小、中とも全般的に全国水準にあるが、中学校の一部にやや落ち込みが。各学校で結果をふまえ、学力向上のため一層の取り組みに努めていく。(教育長)

町教育の現状と課題について

今後の教育の方向性は一斉画一

から個性重視である。学校にはゆとりが必要であるとともに、今後体験的学習を重視する方向へ。(教育長)

中央教育審議会の素案「学級編成の自治体委任」は本町のような小規模校にメリットがあるか

素案では教職員定数の増には触れていない。教職員数不足の本町にはメリットが少ないと考えられる。(教育長)

複式学級解消にむけ取り組みは講師派遣要請を始め、時間割りの工夫や教師間の協力などで問題点をかなり克服しているが、根本的解決にはなっていない。(教育長)

町ぐるみの人づくりにについて

人づくりはまず家庭の教育力の向上から。施策充実に取り組みとともに、社会との調和を大切にしたい大人の意識改革も必要。(教育長)

県立大学の開学に伴う教育方針について

地元の子どもたちによい刺激になっている。

議決報告

●議案第一号 林業地域総合整備事業アクセス林道沢中線舗装工事請負契約の締結について

契約金額・五千四百六十万円／契約の相手方・株式会社大沼組

●議案第二号 平成十年度東由利町一般会計補正予算

一億四百四十三万七千円の追加で、歳入歳出の総額は四十四億一千八百八十三万三千元です。

●議案第六号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

教育委員会委員を任命するものです。

小笠原諒治氏（昭和八年十一月十五日生）

●議案第七号 監査委員の選任につき同意を求めることについて

町監査委員に選任するものです。

佐藤恒悦氏（昭和五年一月四日生）

大学進学という大きな希望実現にふさわしい学力をつけるため進路指導の充実を強化したい。（教育長）

負債農家の支援策はないのか

所得に直接補助するというのではなく、流通支援、用水路、農道など基礎整備で対応していきたい。心配しながらJAの動きも見たい。

「食とみどりと水を守る」全国運動のその後の進行状況は

主旨には賛同。ぜひ大きな運動

になってほしい。全国町村会で検討中である。

小野 健議員

自治体が農家を守るべきではないか。県の価格補填だけではなく、町独自の補填も

様々な補填施策を行って努力をしている。

減反面積分の土地改良負担金の猶予、営農資金の貸付など、県に要望を

県では軽減する措置を検討して

きている。

不況対策として、経営資金や個人の生活資金に援助を

マル由資金の拡大など我々に行いたいことが、町単独ではなく県等と連動した施策を考えたい。個人向けは現実的に難しい。

地元での仕事を増やし雇用拡大を

大変心配している。我々も気をつけながら生活密着型の事業等を進めていきたい。

町長日記

下郷分校創立五十周年を祝う

本荘高校下郷分校が創立五十周年を迎えその記念式典が九月十二日に行われました。畑澤秋田県教育委員長さんはじめ大勢のご来賓もお見えになり、分校の五十周年をお祝いしました。

大東亜戦争、第二次世界大戦と日本が世界を相手に戦争をし国力の全部を使い切った敗戦となり、焼土の中から新

しい民主国家日本をつくって行かなければならないとき、最も大事なことが教育の充実でした。

こうした背景のもとに、終戦間もない昭和二十三年八月十九日、老方小学校の一面にわが町の最初の高등학교として定時制の本荘高校下郷分校が誕生したのであります。

草創期の歴史を知っておられる小松順之助先生はじめ諸先生方のお話を伺いましたが、開学当初、教室は知識欲

にあふれる年齢層もバラバラの生徒達であふれ、教師たちよりも年配の生徒たちが前列に陣取って着席されたときは、びっくりし、冷や汗が出たと言ったことでした。

年齢だけでなく学力もバラバラであり、どの層に向けて授業するべきか大変難儀をしたということでした。真ん中にねらいをつければ上の層は張り合いがないというし、下の層は難しくついていけないということで大変だった

た・・・、もちろん、ろくな教科書もなかったし・・・と当時を懐古しておられました。

昭和三十四年には間借り校舎から旧下郷村役場庁舎を独立校舎にして移転、また昭和四十四年には待望の台山新校舎に移転、さらに昭和五十年には定時制から全日制高校に切り替わったのであります。

あんまり類例のない校史の歩を刻んだ半世紀でありましたが、関係された皆さんのご苦労は大変なものだったと思

います。心からなる敬意を申し上げます。

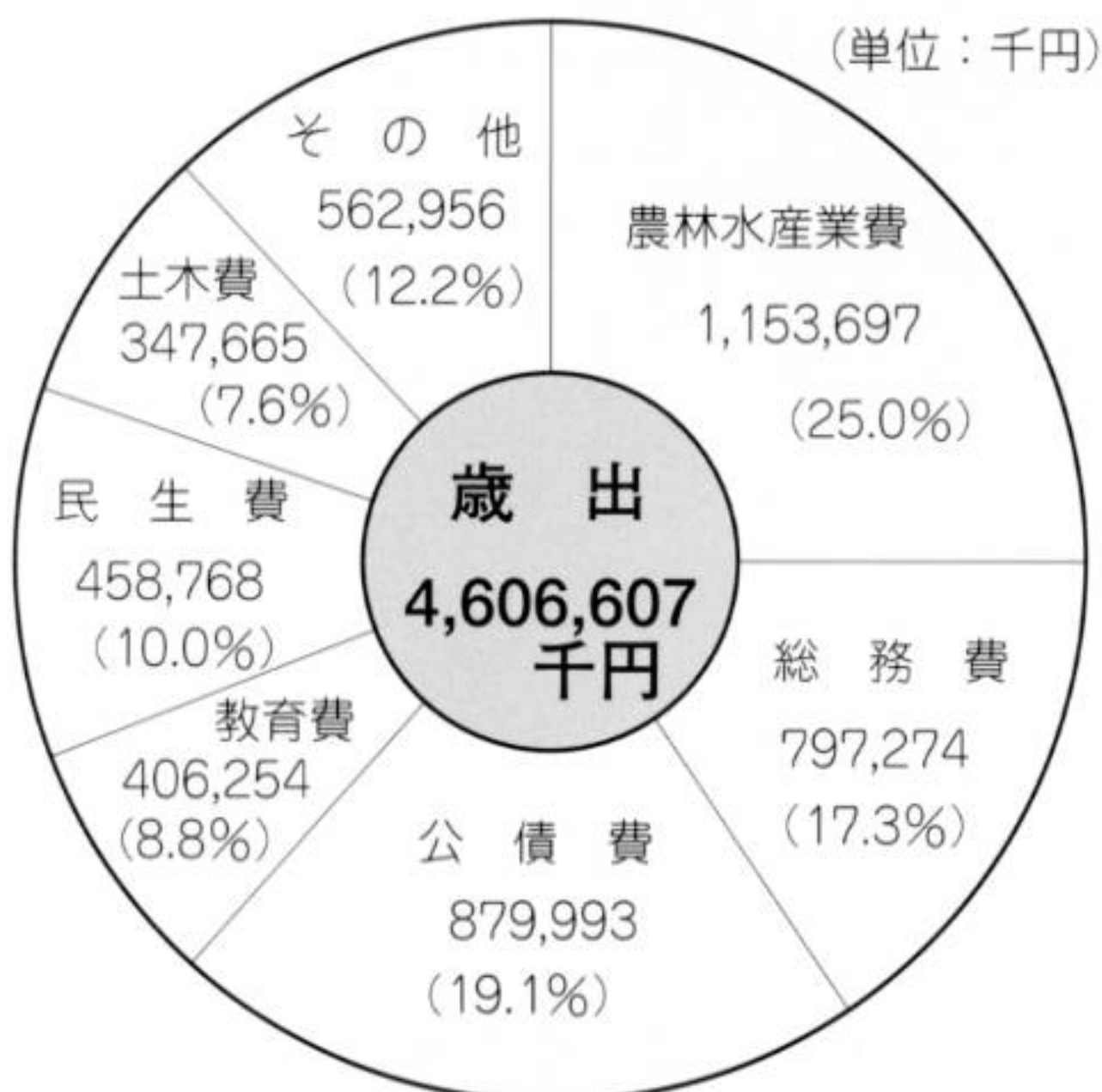
この五十年にわたり、下郷分校は実に多くの人材を育て輩出致しました。町内はもちろんですが全国津々浦々にリーダーとして中堅として同窓生が活躍しておられます。

式典で大勢の同窓生に囲まれキッチンと座る在校生の皆さんに、この五十年の時間を貫く大きな思いを是非引き継いで行ってもらいたいと強く思ったことでした。

870,485円 支出

町の人口は、
3月末現在の
5,292人とした

一般会計の内訳



一般会計、実質収支で一億七千二百八十二万二千円の黒字

重要施策に積極的取り組み

一般会計歳入歳出決算概要

一般会計決算額は、歳入総額が四十八億一千四百三十九万九千円で、前年度に比べ六千六百五十五万六千円の増、歳出総額が四十六億六千六百七十七千円で、前年度に比べ五百二十五万七千円の減となり、翌年度への繰越財源を除いた実質収支では一億七千二百八十二万二千円の黒字となりました。

歳入においては、町財政の基盤となる町税が歳入総額の六・三パーセント、三億五百万六千円で、事業の計画的遂行の原動力となったことに対して、納税に対する町民のご理解と関係各位の努力に敬意を表するものであります。

一方歳出においては、公債費が前年度に比較し二億四千三百七十六万一千円の増となつていますが、繰上償還分を除くと四千七百六十二万七千円の増となります。

扶助費は保育児童や老人福

祉施設措置人員の増加等により、一三・六ポイントの大幅な増となった他、施設管理等の物件費、施設の老朽化に伴う維持補修費が伸びており、今後もこの傾向は続くものと予測されます。これに人件費補助費等を合わせた経常経費は、繰上償還の特殊要因を除いても歳出全体の五一パーセントを占め、財政の硬直化は進んでいます。

政策面では、「ひがしゆり21C計画」を基に、当面する重要施策に積極的に取り組みました。

平成五年度に着手した活性化拠点施設整備事業は、地場産業センターの完成により一期計画が終了、また農林業や生活環境基盤の整備、分譲宅地用地取得、AAB中継局設置等定住環境整備を重点的に行いました。この他、八塩こいの森整備、長年の懸案であった中学校グラウンド改修も補助事業を取り入れて行うことができました。

平成9年度
決算

一般、特別会計決算のあらまし

町の台所は

一人あたり
(一般会計)

特別会計の内訳

(単位：千円)

区 分	歳 入 総 額	歳 出 総 額	差 引
国民健康保険事業 勘定特別会計	543,416	483,084	60,332
老人保健医療 事業特別会計	663,582	663,582	0
簡易水道事業 特別会計	210,516	199,567	10,949
農業集落排水事業 特別会計	737,471	737,464	7
特別養護老人ホーム 東光苑特別会計	256,153	246,741	9,412
大平スキー場運営費 特別会計	17,989	17,933	56
玉米財産区 特別会計	1,156	868	288

一般会計

一人あたり

歳 入
909,750円
(単位：円)

歳 出
870,485円
(単位：円)

地方交付税 428,847
町 債 126,002
県支出金 110,743
国庫支出金 55,644
繰入金 45,840
町税 57,748
繰越金 25,695
地方譲与税 14,038
その他 45,193

総 務 費 150,656
農林水産業費 218,008
公 債 費 166,287
教育費 76,768
民生費 86,691
土木費 65,696
その他 106,379

特別会計歳入歳出決算概要

国民健康保険事業

前年度に比較し、歳入総額で、一・三パーセントの増、歳出総額で五・六パーセントの増となっています。歳出では、保険給付費が三億一千八十五万一千円で総額の六四・三パーセントを占めています。

二〇・五パーセントを占める老人保健拠出金は前年度に比較し三三・〇パーセント、三千五百三十六万九千円と大幅増加しています。

老人保健医療事業

歳入歳出共に六億六千三百五十八万二千円。歳出は医療給付費が前年度より一・九パーセント多い六億五千八百二十四万二千円となっており、高齢者増に伴う医療費の増加は今後も続くものと推測されます。

農業集落排水事業

老方館合処理区処理場建設と管路工事を行い、その財源として全体の四九・〇パーセントの三億六千三百三十五万円を県補助金、五千四百九十一万四千円を一般会計からの繰入金、三億二千二百二十万円を下水道事業債をもって充てま

簡易水道事業

前年度に比較して歳入総額で九・一パーセント増、歳出総額で五・五パーセント増となり、形式収支、実質収支共に一千九十四万九千円の黒字になりました。

特別養護老人ホーム東光苑

歳入総額で前年度とほぼ同額の二億五千六百十五万三千円、歳出総額で五・五パーセント増の二億四千六百七十四万一千円でした。実質収支は九百四十一万二千円の黒字です。

大平スキー場運営費

歳出で、前年度より一・二パーセント減の一千七百九十三万三千円となっています。また、事業収入が前年度より一八・〇パーセント落ち込み、不足分は一般会計からの繰入れによって賄っています。

玉米財産区

前年度に比較し、歳入総額で六八・四パーセント減の百十五万六千円、歳出総額で六六・一パーセント減の八十六万八千円の減になっています。

共に支えあった半世紀の歲月



平成十年度 合同金婚式

九月十一日、今年結婚五十周年を迎えた町内四十五組の夫婦を対象に、有鄰館で合同金婚式が行われました。

今回の対象夫婦は昭和二十三年に結婚した皆さんです。式にはこのうち三十四組の夫婦が出席しました。式典では阿部幸悦町長が、「戦後の混乱期に結婚され、町の基礎をつくられたみなさんにまずはお礼を申し上げます。今、国内外で大きな変化がある中で、二十一世紀にむけてわれわれも努力している。みなさんが積み上げてきたものをわれわれの力とし、今後の町づくりの支えとしたい」とあいさつ。また阿部剛議会



▲阿部町長から金婚夫婦に祝い状と記念品が手渡された



▲終始なごやかな雰囲気にもまれた合同金婚式

人生の節目でもある。これからも長生きされ、後輩に指導を願いたい」とお祝いのことばを述べました。その後一組一組に祝い状と記念品の夫婦箸セットを手渡しました。祝い状を受け取った夫婦の皆さんは、共に過ごした五十年の歲月を振り返りながら、感慨深げな様子でした。

祝宴では、町民謡同好会の唄が会場内に響きわたる中、ご夫婦同士で杯を酌み交わしながら、懐かしい思い出話に興じていました。

最後は出席者一同による万歳三唱で閉じられた合同金婚式。終始なごやかな雰囲気でした。



▲八塩小児童による土器製作

また、新聞社をはじめ、各民間放送局が取材におとずれ、全県に野焼きの集いが紹介されていました。野焼きは屋外で古代の手法により土器を焼くものです。まず、地面にわらを約二メートル×二十メートル

縄文時代に思いをはせる 第22回全県野焼きを 楽しむ集い

九月十七日、第二十二回全県野焼きを楽しむ集いが八塩いこいの森広場で行われ、県内の陶芸愛好者グループ、八塩小学校児童など関係者百二十余名が参加、野焼きによる作品づくりを楽しみました。

台風の影響によって昨年は順延された集い。今年も前日の雨の影響など空模様が心配されましたが、幸い雨も降らず、無事野焼きが行われました。

ほとどの広さに敷き詰めます。その上にわらに包んだ素焼きの土器を並べ、さらにわら、まきをのせて、火を点火します。その後、刈り立ての草やススキをかぶせ全体を厚く覆い、焼き上げるのを待ちます。その際、温度を一定に保つため、こまめに草やススキをかぶせて火勢を調整し、土器が割れないようにします。

約四時間後、熱を冷ました後の灰から焼き上げた土器が出てくるたびに、参加者からはしきりに歓声があがっていました。

世界にたったひとつ、自分が作り上げた土器作品を見ながら、参加者は「何度体験しても土器が取り出される瞬間は緊張する。縄文時代の人たちの気持ちが伝わるようだ」など遠い古代に思いをはせていました。



▲世界にたったひとつ、自分だけの土器に笑顔

金婚おめでとうございます 金婚夫婦の皆さん ()内は9月1日現在年齢(敬称略)

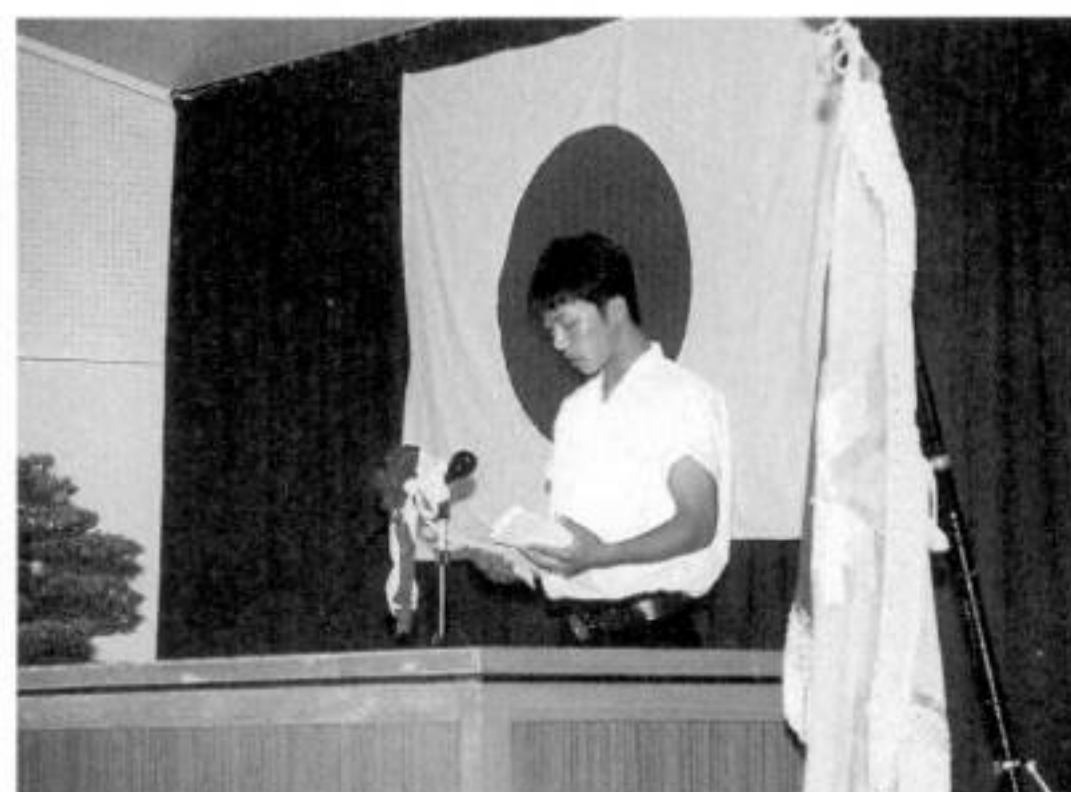
川尻幾郎(75)・チャ(71)[黒瀬]
佐藤順一(68)・すみ子(71)[黒瀬]
高沢己一郎(69)・ハナミ(67)[黒瀬]
佐藤昇(71)・ミツ(68)[葎沢]
渡辺定吉(85)・トシ(73)[葎沢]
佐藤徳四郎(69)・トキ(74)[泡ノ瀬]
長谷山正男(73)・リエ(73)[時雨山]
小松亀之助(73)・ミネヨ(77)[石高]
小松榮蔵(75)・照子(71)[下小路]
遠藤忠一郎(76)・キヨ(72)[館西]
菊地賢次郎(74)・ハルミ(73)[八日町]
小松二郎(71)・イツ(71)[山崎]
小松四男(73)・ミサ(70)[久保]
小野万三(77)・タケ(76)[館合新田]
佐藤松吉(81)・サガミ(78)[須郷田]
宮塚菊四郎(75)・フミ(70)[新町]
小松富七(75)・和(67)[新町]
芦澤良蔵(76)・トミエ(74)[新町]
小松文一(73)・クニ(70)[中通]
小松政治(76)・かづ(70)[下通]
佐藤光男(73)・孝子(70)[下通]
小松吉男(71)・キヨ(71)[下通]
佐藤直温(73)・イネ子(67)[横渡]
阿部千代志(76)・成子(68)[横渡]
植田博(76)・フヨ(76)[岩館]
石渡一雄(73)・歌子(69)[岩館]
伊東知也(75)・リヨ(72)[蔵]
伊東國男(77)・千枝子(70)[蔵]
阿部七郎(75)・チユミ(76)[蔵新田]
小笠原豊記(70)・敏子(68)[蔵新田]
佐藤末五郎(79)・リエ(73)[蔵新田]
小笠原秋夫(73)・トミ(72)[蔵新田]
遠藤貞之助(72)・ミツヨ(68)[島]
阿部武男(71)・ミネ(69)[野田]
遠藤蔵之助(74)・リエ(74)[新処]
阿部涼雄(69)・トモヨ(67)[桂台]
遠藤正(75)・テルヨ(76)[小倉]
遠藤司郎(73)・フタ子(70)[小倉]
伊東喜一郎(83)・トミエ(78)[大琴]
大庭要(70)・キヨ(70)[船木]
大庭喜右衛門(69)・ヒサ(68)[船木]
長谷山一恵(72)・セル子(69)[船木]
小野秋男(74)・ハナコ(64)[高屋]
近江豊三(74)・ヨシ(69)[奥ヶ沢]
沼田勇雄(72)・英子(68)[奥ヶ沢]

「下郷分校こそわが母校」という自負心で



本荘高校下郷分校
創立五十周年記念式典

創立50年を迎えた本荘高校下郷分校



▲在校生代表、生徒会長遠藤和美君が誓いのことば

果を挙げてきた。今後も地域に根差した伝統校として美しい自然の中で、自らを研鑽してほしい」と式辞を述べました。

秋田県教育委員会教育委員長、阿部幸悦町長の祝辞のあと、生徒会長の遠藤和美君が「小規模校であるが生徒間、生徒と先生との交流の深さは大規模校にけっして負けていない。五十年という先輩方が培ってきた歴史と伝統を踏まえながら、私たちが在校生も新たな一ページを作り上げたい」と在校生を代表して誓いのことばを述べました。

その後下郷分校に功労があった方々などを表彰、出席者全員による校歌、分校歌を斉唱し記念式典を閉じました。

式典に引き続き、教育委員会教育委員長小松順之助氏による記念講演が行われました。「人生一期一会」と題されたこの講演、一期一会という言葉は人間関係の大事さという言葉、三十七年間におよぶ



▲「人生一期一会」と題した小松順之助氏の講演

教職生活において、様々な人に出会った経験を通じた教職生活の思い出を語りました。

「教職生活三十七年のうち、下郷分校で二十七年を過ごした。この年月は文字どおり全力投球の二十七年であった」と下郷分校での思い出をふりかえりながら、開校式、草創期エピソードなどにふれ、「下郷分校こそわが母校であるという自負心をもってがんばってほしい」と在校生、卒業生らを激励しました。

本荘高校下郷分校 50年のあゆみ

- 昭和23年8月19日 秋田県立本荘高等学校定時制過程
下郷分校開設（老方小学校に併設）
- 昭和24年12月21日 校友会（現生徒会）結成
- 昭和25年11月25日 分校歌完成
（1期生、故小松敏勝君在学中に作詞）
- 昭和28年1月2日 同窓会結成
- 昭和28年1月11日 定時制教育振興会下郷分会
（現下郷分校教育振興会）結成
- 昭和28年11月22日 創立5周年記念学校祭
（第1回文化祭）開催
- 昭和33年5月5日 創立10周年記念分校運動会
（第1回運動会）開催
- 昭和33年11月23日 創立10周年記念式典挙行
- 昭和34年4月8日 独立校舎（旧下郷村役場庁舎）に移転
- 昭和43年9月16日 台山新校舎、第1期工事
（管理棟等）着工
- 昭和44年3月26日 新校舎に移転
- 昭和44年7月1日 第2期工事（教室棟・産振棟）着工
- 昭和44年11月16日 小松秀穂君、全国定通生活体験発表
大会で第1位文部大臣賞受賞
- 昭和45年7月6日 第3期工事（体育館）着工
- 昭和45年11月17日 新校舎落成式挙行
- 昭和50年3月31日 定時制課程募集停止
- 昭和50年4月1日 全日制課程普通科1学級設置
- 昭和52年11月19日 創立30周年記念式典挙行
- 昭和53年4月1日 全日制課程に完全移管
- 昭和55年8月11日 自転車小屋（現在地）竣工
- 昭和58年10月27日 第1回強歩大会開催
- 昭和59年7月29日 軟式野球部、奥羽大会初出場
- 昭和60年9月26日 校旗掲揚台竣工
- 昭和62年7月31日 軟式野球部、奥羽大会2年連続
準決勝進出
- 昭和63年2月17日 第1回町内高齢者宅除雪奉仕活動
- 平成3年8月26日 県社会福祉協議会からボランティア
活動協力校指定（平成4、5年度）
- 平成7年7月12日 献血協力による厚生大臣感謝状受賞
- 平成9年11月8日 「小さな親切」運動秋田県本部
「実行章」受賞
- 平成10年9月12日 創立50周年記念式典挙行

■卒業生数■

定時制課程（昭27年3月～昭53年3月）587名
全日制課程（昭53年3月～平9年3月）600名
計 1,187名



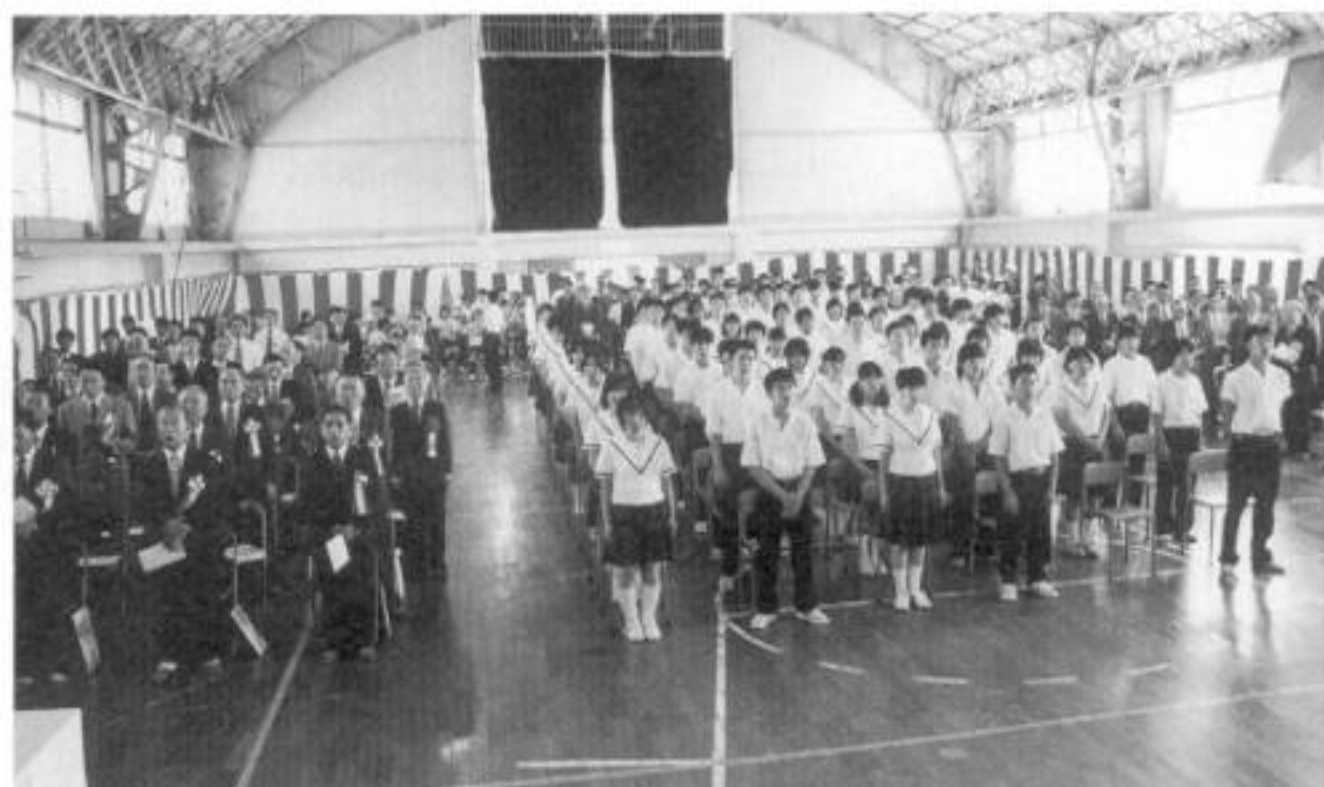
▲前教育振興会長として特別功労者表彰を受けた畠山亮二郎氏

●表彰者一覧●

特別功労者（敬称略）
元教育振興会長 小松榮男
前教育振興会長 畠山亮二郎
教育振興会委員 小松順之助

功労者（敬称略）
教育振興会長 阿部幸悦
教育振興会副会長 阿部剛
元教育振興会副会長 長沼久男
同窓会長 中西蔵之助
元PTA会長 佐々木正輝

永年勤続者（敬称略）
前学校医 小松真悦
学校歯科医 小松義典
学校薬剤師 長谷川雅彦
前職員 高橋誠
職員 小松孝子



▲出席者全員が声高らかに本校歌、分校歌を合唱した

速報

ちよと待った!

その缶ジュース

は大丈夫?

毒入り缶ジュース飲み男性死亡

最近、缶ジュースに「青酸」などの毒物を混入する事件が発生しています。

⑥ 販売する前に…買って飲む前に…

不審な所が無いかわよく点検を!

この件に関する事件・情報は ☎23-4111 (本荘署) または 110番

毒物混入にご用心

秋田県警察
本荘警察署
☎23-4111

見たまま感じたままの 感想文と感想画をお寄せ下さい

第7回高橋宏幸賞・童話（感想文・感想画） 秋田県コンクールは12月20日開催予定

東由利町出身の童話絵本作家である高橋宏幸氏の業績を顕彰し、絵本と児童文学の振興、子どもたちの読書意欲の高揚を目的に創設しました「高橋宏幸賞童話（感想文・感想画）」秋田県コンクール」には、毎年、伸び伸びとした素晴らしい作品が寄せられています。昨年度は感想文、感想画など合計で三千百三十三点もの応募がありました。

七回を数える本年度も、秋田県全域の幼稚園、保育園（所）、小学校の児童を対象に童話を読んでの感想文と感想画を募る童話コンクールを実施します。

応募要項については次の通りです。

- ▼文または、感想画を書いてください。※高橋宏幸先生の作品以外も応募対象となります。
- ▼童話の感想文
 - 応募資格／小学生
 - 応募規定／B4判原稿用紙（四〇〇字詰）縦書き三枚以内
- ▼童話の感想画
 - 応募資格／幼児（四歳以上）、小学生
 - 応募規定／四つ切り画用紙。紙の種類は特に限定しない。画材は自由。本のさし絵、カット等を写したものは対象外。
- ▼応募締切日
 - 平成十年十一月十九日（木）
- ▼応募方法
 - 作品応募票を添付のこと。
- ▼表彰
 - 感想文、感想画の幼児、小学生ごとに賞状と商品。
 - 表彰式は十二月二十日を予定。
- ▼選考方法
 - 高橋宏幸賞選考委員会で行う。
- ▼その他
 - 応募された作品は原則として返却不可。
 - なお詳細については、東由利町教育委員会「高橋宏幸賞コンクール」係「☎〇一八四（六九）一三二一」まで。

本荘地区消防事務組合 消防吏員採用試験

平成十年度消防吏員採用試験を次により実施します。

- 試験日 十月二十二日（木）
- 第一次試験実施。二次は後日
- 試験会場 本荘地区消防事務組合会議室
- 採用予定人員 初級若干名
- 試験科目 一般教養
- 受験資格 ①昭和五十四年四月二日から昭和五十六年四月一日までに生まれた男子。



- 採用後、本荘市、岩城町、大内町、東由利町、西目町に居住できる人②高等学校を卒業した人及び卒業見込みの人③視力、聴力、身体の健全な人④欠格事項に該当しない人
- 申込 申込書は消防本部総務課、各分署にあります。必要書類を添えて消防本部総務課へ
- 受付期間 十月一日（木）から十月十五日（木）
- 問い合わせ 消防本部総務課「☎（二三）四二八二」

わが町の指標 8回

◆第二次産業就業者比率・十七位◆（四十一万）

一・四％

■参考

- 一位（仁賀保町…五十九万）
- 四・〇％
- 六十九位（大湯村…一・〇％）
- ※平成七年国勢調査報告より
- 第二次産業（鉱業、建設業、製造業）に従事する就業者数の全就業者に占める割合をいいます。

◆製造業就業者一人当たり工業出荷額・二十九位◆（二千七百）

■参考

- 一位（雄和町…六千二百九十八万）
- 六十七位（島海町…四百六十八万）
- ※平成七年秋田県の工業より
- 製造業を営む事業所（従業員四人以上）の工業出荷額を従業員数で割返したものです。

◆交代指数（製造業）・五十位◆（七一九）

■参考

- 一位（大湯村…二二三・三）
- 六十九位（阿仁町…四二・二）
- ※平成七年国勢調査報告より
- 四〇歳から六十四歳までの就業者に対する一五歳から三九歳までの就業者の割合をいいます。

※なお、第二次産業就業者比率、交代指数以外は、一町で数字未公表のため六十七位まで。

秋田県統計協会発行「わがまちわが町の指標」より抜粋して紹介しています。

◆製造業一事業所当たり工業出荷

国土利用計画法の 届出制度が変わります

平成10年9月1日から国土利用計画法に基づく届出制度が変更されました。

主な改正点は、次の2点です。

1. 事前届出制から事後届出制への移行
2. 注視区域制度の創設

以上の点について、説明します。

事後届出制について

■事前届出制が事後届出制になったということですが、どんな場合でも事後に届けばいいのですか？

●従来は、大規模な土地取引を行おうとする場合、契約の締結前に届出が必要でしたが、今後は規制区域、監視区域および注視区域が指定されていない地域においては、契約の締結後に届出をしてください。

事後届出制は、平成十年九月一日以降に締結された契約に適用されます。

■届出事項と、届出の必要な土地取引については？

●届出事項については、①契約当事者の住所、氏名など②契約締結年月日③土地の所在および面積④土地に関する権利の種別および内容⑤土地の利用目的⑥土地に関する権利の対価の額などです。

届出の必要な土地取引については、従来と同様で、一定面積以上（市街化区域・二千年以上、市街化区域を除く都市計画区域・五千㎡以上、都市計画区域以外の区域・一万㎡以上）の土地について、土地に関する権利（所有権、地上権または賃借権、売買予約完結権等前記の権利の取得を目的とする権利）の移転または設定をする契約（土地売買等の契約・対価を得て行われる土地に関する権利の移転または設定をする契約で、売買契約、売買予約契約、権利金をとる賃貸契約、交換契約等）を締結した場合に届出が必要です。

■届出はだれが行うのですか？また届出はいつまでにどこで行えばいいのですか？

●届出者は、事前届出では取引の当事者（売買の場合、売主と買主）でしたが、事後届出制における届出者は土地の

取得者（買主）のみとなります。

届出は、契約（予約を含む）を締結した日から起算して二週間以内に、土地の所在する市役所、町村役場に届け出てください。

注視区域制度について

■注視区域とは何ですか？

●知事が、地価が一年間に社会的経済的事情に照らして相当な程度を越えて上昇し、または上昇するおそれがあり、これによって適正かつ合理的な土地利用の確保に支障を生じると認められる区域として指定した区域のことです。

監視区域とは、別の区域として定められます。（監視区域制度には変更はありません）

■注視区域内での届出はどうなりますか？

●注視区域が指定されている場合には、当該区域内における一定面積以上の土地について、売買などの取引を行う場合には、これまでも同様に契約締結前に届出が必要であり、届け出から六週間の契約締結制限や、取引予定価格の審査・勧告等についても事前届出制と全く同じです。

東由利・成立

区分	頭数	平均体重	平均価格	Kg当単価
去勢	17	307kg	458,541	1,422
雌	13	280kg	347,712	1,181
合計	30	295kg	410,515	1,318

●最高金額 去勢 583,800 北国7の8 菊安 安美金
●最高金額 雌 511,350 高栄 安美金 第7系桜

九月家畜市場

木材共販市況

（平成十年九月・平均単価）
四五年生から五五年生

径級	単価（石）	備考
30cm上	5,100円	
24~28cm	5,100円	
14~22cm	5,000円	
13cm下	2,700円	
曲り材	2,000~2,700円	

先月はやや品不足感があり価格が上向き。量的にも多くさばけたが、今だ先行きが不透明なことから、価格は横ばいからやや弱含みの状態。落札率30%と低調。

林業だより

今後の国産材需要

農林統計情報部では、今後（五年先）の国産材の需要等について、林業者と流通加工業者のモニターに調査を実施しました。

その調査によると、今後の国産材需要については、林業者では現状維持が五割、減少するが三割となっているのに対し、流通加工業者では、現状程度、減少するともに四割となっています。国産材の需要拡大のために必要な取り組みについては、林業者では生産加工流通体制の整備、流通

加工業者では、土木事業や公共施設への利用促進とする割合が高くなっています。需要拡大のために必要な木材や製品の供給については、林業者、流通加工業者ともに、乾燥材等の品質や規格が安定した製品が必要であるとするのが最も多くなっています。経営上の問題点等では、林業者は木材価格の低迷、林道等の未整備をあげ、流通加工業者では、原木流通は現状のまま、製品は住宅メーカーの系列下による取引が増えるとする割合が高くなっています。

（町林業懇話会会長

佐藤恒悦氏）

一打の重みと大切さを実感

全日本ゲートボール選手権大会



▲長沼利文主将の力強い選手宣誓にカメラ殺到

九月十九日、二十日の両日、秋田市八橋陸上競技場、八橋球場を会場に文部大臣杯第十四回全日本ゲートボール選手権大会が行われ、全国の県予選を勝ち抜いた四十八チーム、約三百人が熱戦を展開しました。秋田県からは県予選を勝ち抜いた本町が参加しました。本町は平均年齢四八・三歳の九番目に若いチームです。

十九日に行われた開会式では、多数のカメラに囲まれた長沼利文主将が、桜内大会会長の前で選手宣誓。力強い宣誓に会場から大きな拍手がおこっていました。

試合では雨のためコートの状態が良好とはいえず、全力を尽くしたものの残念ながら二次リーグ進出は果たせませんでした。「勝てる試合もあっただけに残念だった」と長沼さん。「今回の大会では、一打の重み、大切さを改めて痛感しました。全国から勝ち抜いてきただけに一打一打に全力で取り組んでいますね」と、全国大会参加の感想を話していました。

なお、十月十日の体育の日には、お世話になった町民の皆さんにと野球場の芝面を利用して、同全国大会出場記念大会が行われます。



▲全力を尽くし闘った選手の皆さん

自治会からの町づくり提案

新町自治会町づくりフォーラム



▲新町会館で行われた町づくりフォーラム

九月十八日、新町会館で平成十年度新町自治会町づくりフォーラムが行われ、新町自治会の皆さん始め、町から阿部幸悦町長、要望等に関する課長等が出席しました。

自治会長、阿部町長のあいさつに引き続き、座談会が行われ、前堤農村公園の整備、下水道、町スポーツ祭についてなど、町政に対する多くの要望や意見が寄せられました。

町では明るく元気の出る町づくりのために、町民のみなさんとの対話を大切にしています。

学校で見る孫の姿に満足げ

大琴小学校祖父母学級



▲児童と祖父母の皆さんの交流が行われた

九月十九日、大琴小学校体育館で祖父母学級が行われ、児童および関係者など三十余名が交流を深めました。毎年同小学校で行われているこの行事、児童の祖父母だけでなく、宿老人クラブの皆さんも参加、コマ回しなど昔の遊び、影絵鑑賞などを楽しみました。

お互い最初こそとまどっていたようでしたが次第に打ち解け、終了間際には子供たちの歓声が体育館内にあふれていました。児童の祖父母は学校で見る孫の姿に満足げでした。

町のあっち、こっちから



▲みどり保育園健康づくり運動会（9／6）



▲法内地区家族運動会（6／13）

かんぽが健康づくりを応援

かんぽ健康増進支援事業

九月六日にみどり保育園健康づくり運動会が、九月十二日には永慶保育園健康づくり運動会がそれぞれ行われ、参加者は自分の体力にに応じ、楽しみながら運動していました。また、去る六月十三日には法内地区で家族運動会が行われ、同地区の皆さんが日頃の運動不足を解消していました。

ところで、かんぽ健康増進支援事業をご存じでしょうか。この事業は郵便局の簡易保険加入者の福祉活動の一環として、加入者の健康保持増進活動を支援するために平成五年から実施しているもので、両保育園運動会、法内地区運動会は、この事業を利用して行われたものです。

この事業には、三つの柱があります。一つ目は健康づくり事業。今回行われた運動会など、心身の健康及び体力の維持向上を図るもの。二つ目は成人病など予防事業。「がん」などの成人病やその他の疾病を予防するための講習会や料理教室を行うもの。三つ目は介護支援事業。介護に必要な知識及び技能を習得するものです。これらに係る事業を行う簡易保険加入団体は、郵便局に要望することによって補助を受けることができます。ただし限りがありますので、詳細はお近くの郵便局へ。健康づくりは日頃の心がけから始まります。

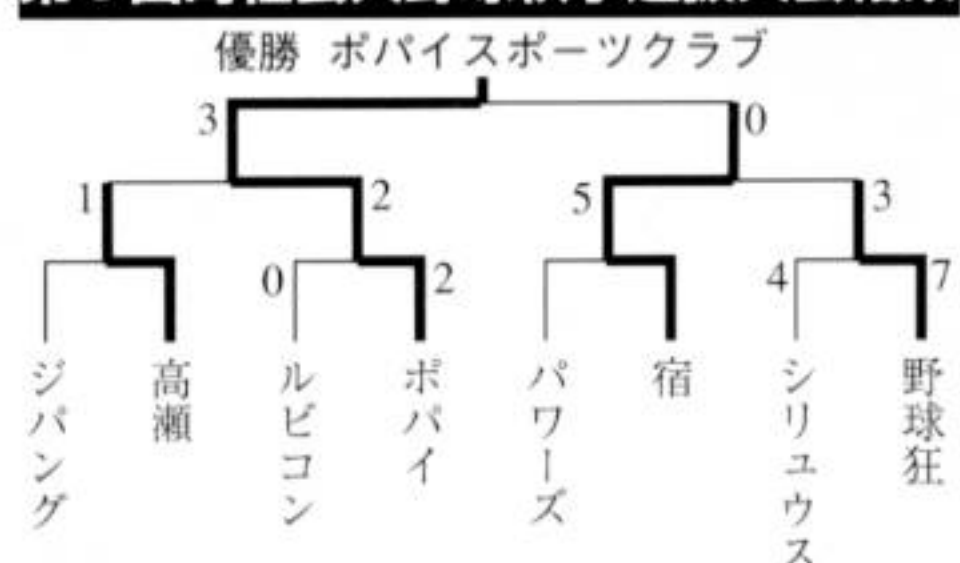


▲500歳野球は、選手全員が全力を尽くしました。反省会では皆で次の勝利を誓い合いました。

五百歳野球大会

各野球大会でのがんばり

第5回町社会人野球秋季選抜大会結果



優勝：ポパイスポーツクラブ／最優秀選手賞：押切信人（ポパイ）／優秀選手賞：阿部一久（宿）

秋季野球、優勝はポパイ

テレビ塔からの絶景楽しむ

歩こう会



▲皆が楽しんだ歩こう会（写真：畠山明さん／茂沢）

九月十五日、老方分館のみなさん約六十人が参加し、上里のテレビ塔を目指す歩こう会が行われました。この行事は毎年行われているもの。出発時には小雨が降りだし、開催が危ぶまれましたが、参加者は元気にテレビ塔を目指しました。秋めいた風景の中、自然に親しみました。出発から約一時間半、目的地のテレビ塔から見る町の景色はまさに絶景。用意された無料の豚汁、焼き鳥に舌鼓をうちながら、しばし疲れを忘れ、風景に見入っていました。

東由利文化クラブ

いらっしやいクレア先生



▲クレア先生の授業

八月末から本町に新しいALTとして、イギリスからクレアさんがいらっしやいました。一年の予定で英語指導助手として、東由利中学校を中心に指導されます。

最初、日本語はいさつ程度でしたが、最近ではかなり覚えられたようです。生徒たちとは若さで交流、早くも慕われているようです。これからよろしくお願ひいたします。

町で働く他町村の方紹介

富岡真さん (二十三歳)

老方郵便局勤務 横手市より通勤



四月から新採用になり、老方郵便局が初勤務局になった富岡さん。現在横手市から通勤、窓口勤務を中心に充実した毎日を送っています。

「二〇七号の道路がせまいですね。特に他町ですが、家々が密集しているところがあり大変です。また冬場の峠は大変そうですね」職場の雰囲気も教えてください。

「どの職員の方も親切に仕事を教えてくれるし、職場の雰囲気としてはいいのではないのでしょうか」町の雰囲気を教えてください。

「横手から通勤しているのですが、周囲に自然があふれていて、住みやすそうなお店が多いですね」窓口で対応している町民の方々の印象について教えてください。

「親切な人が多いですね。また全体的に親しみやすい人が多いような気がします」今後の抱負や目標について

「仕事をすることばかり仕事をおぼえることが目標です。また、郵便関係で自分のやりたい仕事があるので、それに向けて勉強したいと思っています」

まだまだ若い富岡さん。夢は大きくがんばってほしいものです。

◆東由利の文芸◆

(せせらぎ句会)

鬼やんま葉先に通ふ風出し
なにげなく頬過ぐ風の秋めけり
西瓜売り問わず語りの氏素性
一人居の老女の庭や白木櫓
吾亦紅出羽路に迅き夕日かげ
初紅葉山湖は真昼眠るかに
水のくぐる音して谷間葛かつら
虫籠の忘れ去られし夕厨
世に疎き母の小言や秋なすび

時雨山 吉川 葉子
蔵新田 小笠原亮子
下小路 小松 メサ
中通 小松順之助
船木 大庭喜右衛門
横渡 高橋ヒデ子
舟打場 高橋民治郎
小倉 遠藤トミ子
秋田市 嵯峨 義之

ひとところうつすら赤く水引草
雨しとど草に沈むや虫の声
新涼の音も澄みけり水源池
蜻蛉の知己のごとくに肩の上
身の丈をまた縫ひあげる秋拾
出揃うて重さ見せなき稲穂かな
落鮎に水嵩たかき高瀬川
観光団滝に放てる土地訛り
山に向き人と似たるや遠案山子
生も死も先あらそはず走馬灯
鈴虫に更けてふくらむ厨の灯
枯るる日も肩もたれあふ百日草
親しくも菊一本の供華なりし

蔵新田 小笠原トミ
蔵新田 小野 貞子
湯出野 佐藤 正義
横小路 宮野源二郎
蔵 阿部 澄子
湯出野 小松 徳蔵
横小路 小松 丈介
山崎 小松 良子
高戸屋 小松 敏雄
家ノ下 小松 正昭
五海保 巖石 レイ
久保 高橋 典三
上里 小野石路子

★アイドルをさがせ!



遠藤理奈ちゃん (3歳)
お父さん:育英さん
お母さん:和佳子さん
【宿】

お話し:和佳子さん

名前について教えてください。

「名前は父親がつけてくれました」

どんなお子さんでしょうか。

「家では大丈夫なんですけど、外では案外人見知りです。あと妹のめんどろをしつかりみる子です」

チャームポイントはどこですか。

「踊っているときの笑顔です」

好きなものは何ですか。

「食べ物なんでも好きです。歌ったり踊ったりするのが好きです。砂遊びも好きです」

家族で好きな人は。

「おばあちゃん(テツ子さん)のようです。最近一緒に眠るようになりました」

将来について教えてください。

「お店やさんごっこが好きなのでお店やさんでしょうか」

童話を

あなたに

食欲の秋にちよつとのぞいてみたいおいしいパン屋さんがあるの
でこっそり教えますね。

とある町にくまのパン屋さんが
います。くまさんのパンはみんな
大好き。パンだけではなく、お誕
生日のケーキも美味しいのです。
さて、今日もくまさんは、朝早
くからおいしいパンをつくるのに



パンやのくまさん／フィ
ービとセルピ作

大忙し。くまさんはいつものよう
に、エプロンをかけ大きなボール
に粉をいれこねていきます。パン
きじがふくらむまで朝ご飯。その

うち甘い香ばしいにおいがただよ
ってきます。できあがったパンや
パイ、ケーキを車で町に運びます。
町ではくまさんが来るのをいまや
遅しと楽しみにしています。鐘が
がらんと鳴るのがやってくる
合図。同時に町の人が集まって
くるのでした。

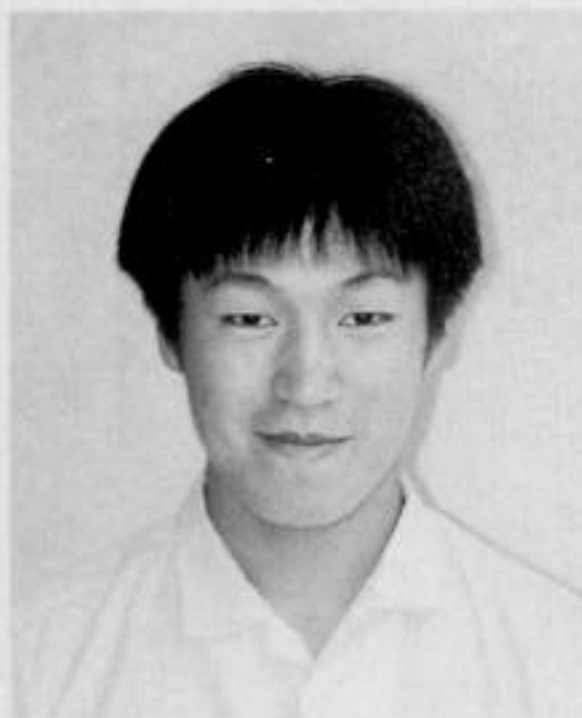
紹介者・小野邦子さん

ハイハイと歩

高校生活半年を振り返って

下郷分校一年生

遠藤洋昌くん



早くも秋風が吹く頃になりました
が、高校に入学してからの半年、
様々な行事や出来事がありました。

特に印象深かったのは、一学期
では運動会、二学期では、先に行
われた創立五十周年記念式典や秋

季軟式野球大会です。

僕は野球部に所属しているの
で、野球大会での敗戦は残念な気
持ちでいっぱいでした。秋田商業
高校と対戦し、前半に大量点をと
られたものの、後半に味方打線が
炸裂、一挙に六点を入れ、二点差
まで追いつめました。

今回の敗戦は、僕自身にも勉強
になることが多かったので、これ
をバネにして、次の春の大会に向
けてがんばって練習していきたい
と思います。

クラスの方ですが、学校生活に
も慣れ、先生方ともコミュニケーション
をとりながら、何事にも楽
しく取り組んでいます。ただ学校
に慣れたこともあり、気持ちが少
したるんできたように思います。

今となっては、過ぎ去った日々
を取り戻すことはできませんが、
これからの一分一秒を大切にし
て、充実した毎日を送るようにし
ていきたいです。

むかしむかし

十六

庄ぜん地蔵さま

むかしむかし、横渡に庄ぜんさ
んという方がおりました。働き者の
庄ぜんさんも、忙しい春の田打ち
頃になると、足腰が痛く大変です。

それでも明るい顔で田んぼに出か
けるとときや、帰りには自分の家の前
の道端にあるお地蔵さまの前にしゃ
がんで、「どうか、今日も一日元気に
働けますように」「お地蔵さまや、今
日は思いのほか仕事がかどって、
ありがとうさん」と手を合わせるの
でした。

ところが、ある年運が悪く、家内
中はやり風邪にかかり、働き手は、
庄ぜんさん一人ぼっちになってし
まいました。

それからの庄ぜんさんは、仕事
の行き帰りお地蔵さまに、一日の出

来ことを何でも話すのでした。雨降
り続きで困ったお天気のこと、ど
んなことも・・・この時だけが、
庄ぜんさんの楽しいひとときなの
でした。

やがて、田植えの頃となりました。
しかし、働き手一人の庄ぜんさん
は、まだ代かきも終えていないので
した。

「お地蔵さま、今日も一人でがんば
るよ」庄ぜんさんは、いつもの
とおりお地蔵さまにおまいりして田
んぼに出かけました。

すると、どうでしょう。田んぼの
角で、一人の男の子が大きな鍬を持
って、せっせと代かきをしているの
でした。

「あれっ。お前、どこのわらし
だ・・・」庄ぜんさんは目を丸く
して尋ねま

した。男の
子は真赤な
ほつぺたで
にこにこし
ながら、黙
って、上手
に鍬を使っ
ています。

日が暮れよ
うとしたと
きは、代か
きもすっか
り出来あが
りました。

庄ぜん
さんは「こ
れも、あの
わらしのお



陰だ。晩けは、ぼた餅でもうんとこ
ちそうしよう」と、ひとりごとをい
いながらあたりを見回したときには、
どうしたことか男の子の姿はどこに
も見えませんでした。

首をかしげながら帰り道、いつも
のようにお地蔵さまの前にしゃがん
だ庄ぜんさんは、あっとびっくり
しました。お地蔵さまの足もとが泥
でよごれていたのです。

「さてさて、さっきのわらしはお
地蔵さまだったのだろうか」庄ぜん
さんは思わず手を合わせ、お地蔵
さまをおがみました。

朴の木の実が大きくなった頃
庄ぜんさんの家内は、すっかり元
気になって家中そろって田植えがで
きたのでした。

(文と絵／石渡力造氏)



郷土の野草

東由利

NO.164

イボクサ

(ツユクサ科)

文・写真 小松忠正氏

本州から沖縄までの田んぼ、苗代の跡地など水辺を好んで生える一年草で、休耕田などにも見られます。

下部は横に這い、茎の節からひげ根を出しますが、地上の茎は淡褐色で斜上します。葉は二列になって互生し、披針形で長さ四から五センチ、底部は茎を包みます。茎葉ともに軟質で、葉には光沢があります。秋に茎の上部が頂に近い葉腋に○・五センチぐらいの白紅色三片の可憐な小花をつけます。

和名はこの草をイボ取りに使ったことからいわれ、別名をイボトリクサともいいます。

秋まつり1998開催のお知らせ

十一月一日(日)には
ギンガマンがやってくる
(十時及び十五時の二回)
C・一九九八・テレビ朝日・東映



毎年行われていた産業文化祭は今回「秋まつり」として再スタートします。詳細は追ってお知らせします。

十月三十一日(土) 十一月一日(日) 開催

秋の全国交通安全運動



自動車運転気をつけて!

▲交通安全を呼びかけた
九月二十二日、道の駅東由利駐車場にて、東中三年生五十人が自動車ドライバークーラーに安全運転をと、手作りのキーホルダー、リングなどを手渡しました。また十九日には八塩小学校六年生も手作りのマスコットを自動車ドライバークーラーに渡し、安全運転を呼びかけました。ドライバークーラーは突然の贈り物を受け取って、みな笑顔で受け取っていました。

事故は一瞬の油断に発生しやすいものです。自動車ドライバークーラーは、余裕を持った運転をしたいものです。

●お誕生おめでとう
阿部 雄大さん (美勝) 横渡
伊東 秀磨さん (真理子) 蔵

(8月21日～9月20日届出)

戸籍の窓口

まぶしいろ
社会福祉協議会に佐々木正男さん(大琴)、小野敦志さん(宿)、高橋忠英さん(館合新田)からご芳志が、また広報送付謝礼として、工藤秀晃さん(秋田市在住)、菊地愛さん(本荘市在住)、中村松之助さん(本荘市在住)から、また、町情報発信のためにと畑山茂さん(八王子市在住)から金一封が届けられました。ありがとうございました。

今月の写真スナップ



五海保の高橋キヨさんがこんなナスを見つけたとびっくり。

びっくりナス発見

10月▶データ東由利

〈8/1～/31〉

住民基本台帳人口 () は前月比

- 男.....2,547人 (△5)
- 女.....2,702人 (△1)
- 計.....5,249人 (△6)
- 世帯数.....1,393戸 (△1)

() は1月からの累計

- ・出生2人(20)・死亡6人(45)
- ・転入7人(55)・転出9人(119)

- 火災出動.....0件 (0)
- 救急出動.....16件 (97)
- 交通事故.....1件 (4)
 - ・死亡.....0人 (0)
 - ・傷者.....1人 (7)
- 飲酒運転.....1人 (2)
- 酒気帯び.....0人 (0)

10月の行事予定

- 3 奥羽横断駅伝
- 10 東中祭
- 13 ことぶき大学
- 16 由利郡老人クラブ女性指導者研修会 (有隣館)
- 18 スポーツ祭 (ペタンク+グラウンドゴルフ)
- 21 中学校公開授業
- 25 第6回東由利音楽祭
- 26 農業委員会
- 31 秋まつり1998 (~11/1)
- 31 文化講演会 (有隣館) 講師: 神田紅氏

※町の宝ものは休載しました。



ほっとひといき

今年の8月から9月にかけて、豪雨による災害が全国的に起こりました。本町にも傷跡を残しましたが、死者が出るほどの災害にはならず、安堵したところですが、以前災害を担当していたのですが、台風の時期になると妙に落ち着かなかった事を思い出します。そういえば隣町〇町の災害担当の友人は50年に一度の災害が2年に渡ってやってきて、大変だったと話していましたが、災害は突然おとずれるもの。自分出来る備えを考えておきたいものです(さ)